

细腻なんて言わせない!!

254



「うちの人たちはよく働くの。だから大助かりなのよ。商売？ あんまり欲を出してはダメよ。トントンでいいの」と、笑顔の中で続ける沢田さん

商売は欲を出してはダメよ

「人気は唐揚げ弁当ね」と言う 沢田 ゆづ子さん

■手作り弁当「ファミリリーショップ南台」経営
■いわき市南台二丁目一ノ七

電話／〇二四六一六三一九〇〇〇

「店は日曜、祝日は休みだけど、私ね、この仕事始めてからというものの、ずっと休みという休みなんかはないよ。うん、そんなでもないど思ってたよね」

時に、豪快に笑いながら話す沢田ゆづ子さん（六九）は、勿来・山田町に隣接する団地、南台の完成、オープン当時から店を構え、切り盛りを続けてもう二十余年になる。

農家の主婦だった沢田さんは当初、請われて企業と一般の団地、約四百五十区画が「共生」する、山田インダストリアル・パークの造成・建設現場で作業員らに提供する食堂で働いていた。

その後、団地は完成したものの、各企業で働く社員たちへの食事などを提供する店がなかったため、団地の施業者から「店を出してほしい」と依頼された。これが、きっかけとなり、平成八年四月に開業。

店舗は、団地の大通りのほぼ中央に位置し、「始めたころは、切手も、ハガキも、熨斗（のし）袋などのほか、飲食類まで扱い、ちよっとしたミニコンビニだった

んだよ」と、沢田さん。

だが、次第に売れ行きが伸び悩んできたため、十年ほど前から「弁当一本」に切り替え、勿来や田人方面へも搬入していたが、今は、団地内の各企業を顧客として納入を行っている、という。

「店のみんながよく働いているから大助かりなんだよねえ」と感謝を込めて話す店には、彼女のほか、次男の妻、沢田さんの実家の嫁ら合わせて四人が朝の八時前から弁当作りを務む。

「私、生まれはいいんだよ」

そんな中、食材で一番気になるのは、メインの米。だが、これは沢田さん方が農家でもあるため、自家米のコシヒカリを利用。月に数回店へ「産直」する役目は夫の忠義さん(七三)で、文字通り「ファ

ミリー経営」だ。

こうして作るメニューは盛りだくさん。定番の幕の内はもちろん、シヤケ、ノリ、焼き肉などのほか、「うちの一番の人気は唐揚げだよ」と、沢田さん。

このほか、中華、カルピなどの丼ものからミニ弁当、カレーなど合わせて三十数種類もある。値段も四百円台が中心で、通りがかりの購入者も少なくない。

毎日、団地内の十数社から昼食を依頼されており、「弁当は、午前の十一時まで各企業へ一斉に運んでいるんです。これまでが忙しい」。生来、ネアカなのか、終始笑顔で話



す沢田さんだが、あの東日本大震災で店から二、三分ほどにある自宅の家屋が倒壊し、「部屋から青空が見えたんだよ」。この折にはさすがにガックリ。仕方なく、一家で地域の集会所や、団地内の案内所で暮らし、二年前に元の場所に新築し、やっとひと息の様子。

団地内唯一の店だったが、昨年九月には、道路を挟んだはず向かいにコンビニが出店したものの、「店にやや影響が出たね」と、あつさり。

「私ね、生まれはいいんだよ」と、冗談を交えつつ快活に話す沢田さんは、「昔はもうかっていただけ、今はトントん。やっつけられればいいの。あんまり欲を出してはダメ」と話し、「私のモットーはね、人生は後悔しないで生きていくことなの」と、強調していた。



「震災にはガックリでした」

人生は後悔しないで生きるのが一番!

プロフィール

さわだ・ゆうこ

1945年4月8日生まれ。入遠野出身。嫁ぎ先が同団地の地主でもあった関係で今の仕事に就いた。一家は現在4世代で、97歳の義母の面倒にも世話を焼く。「店はね、働けるうちは働くよ。借金で銀行へ行くようになったらやめる」。「政治なんかバカバカしくってね。それなら、水戸黄門見てた方がいいわ」。得意な料理は「煮物、煮魚」。血液型は、O型

■お知らせ=このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。



株式会社 佐藤部品商会

流通センター営業所：いわき市常磐西郷町銭田107
TEL0246-88-6775 / FAX0246-72-1387

- ときわ出張所：いわき市常磐水野谷町諏訪崎89 TEL43-2275
- 本宮出張所：本宮市荒井字青田原1-522 TEL(0243)34-6770
- 小名浜営業所：いわき市小名浜西町5-4 TEL54-6262
- 平営業所：いわき市内郷御厩町4丁目59 TEL27-6200
- 四倉営業所：いわき市四倉町細谷字大町53-1 TEL34-5413
- リサイクル事業/リビルト：いわき市常磐西郷町銭田107 TEL88-6771